

経営を学ぼう！

(一財) 公共経営研究機構 理事 名前 関山 祐介

今まで普通だと思っていたことが突然崩壊する。そして、皆が不安に襲われ、何が本当で何がウソなのかが分からなくなる。ちょうど 10 年前に起こった東日本大震災や 2019 年 10 月から発生し始めた COVID-19 による社会的混乱は、21 世紀に生きる私たちに大きな衝撃を与えました。

当たり前の生活、ありふれた日常が当たり前でなくなる。そこに大きな差が生じました。

- ・ 今までの生活が将来も続いていくだろうと漠然と考えていた人たち
- ・ 将来をできる限り予測して、状況が変化するとそれに対応していける人たち

サラリーマン生活というのも、未来永劫変わらないものではありません。時代環境に呼応して変化していくものです。例えば COVID-19 によって、世界の労働環境は大きく変わりました。

手取り額だけに一喜一憂してばかりいた日本のサラリーマンも世界も大きく変わることを余儀なくされるでしょう。実は、サラリーマンも「給与所得者」というフィルターがかかっているものの、立派な経営者なのです。ところが、その内実をいつの間にか忘れているのです。

本来、ビジネスや仕事というものは、価値を生めばそれなりの対価が得られ、価値がなければ淘汰されていきます。そして、その潮流が一層進展しているのが現代です。

サラリーマン、給与所得者だからといって身分が安泰とは限りません。

皆さんの住む地域も同じです。いつまでも従来どおりに過ごしては、どんどん取り残されてしまいます。20 年前、10 年前と今を比較すると、そのことは歴然と分かるでしょう。

何も手を打たず、新しい物事にチャレンジしなかったところは、産業が衰退し、住む人が減っていきます。少し注意を払って見ると、たった 10 年程度で大きく活力を失っているのが分かるはずです。

これからの時代は総合的に経営のノウハウを知り、それを使いこなせなければなりません。組織マネジメント論、マーケティング論、人材育成論、金融・投資のノウハウ、情報リテラシー、そしてチャレンジとリスク回避の方法など、サラリーマンであれば今まで知らなくても勤まるとされてきたノウハウを総合的に体得し、駆使できるようにならなければ生き残れません。将来の展望を開くこ

とはできません。

誰も気が付かず、あるいは気付いていたとしても臆して動かない地域や人が多い日本。国内や地域や身近な周辺の物事にしか目が届かない人が多い中で、今回の公共 MBA のノウハウを学ぶことにより一歩先に進むことは、地域の将来はもちろん、自分の人生を経営していくことにも必ず役立ちます。

人生の展望も地域の将来も誰一人責任を持ってくれません。所詮はあなた自身で歩まなければならないものだからです。

冒頭で何もかもが大きく変化する、当たり前が当たり前でなくなると述べました。しかし、変化する今こそ、私たちは大きなチャンスの中にいるのです。

ぜひ公共 MBA を学んで、このチャンスを活かしましょう！